

令和7年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

香芝市教育委員会事務局
教育部学校支援室

1 調査の目的

本調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握し、及び分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てるため、実施されるものです。

調査結果からは、児童生徒の各教科の領域ごとの学習状況、学習に対する興味及び関心、授業の理解度等が把握できます。結果を踏まえて、各学校では児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努めています。

2 調査の概要

(1) 調査実施日

令和7年4月14日（月）から同月17日（木）まで

(2) 調査対象

市内10小学校 第6学年（受検者数761名）

市内4中学校 第3学年（受検者数702名）

(3) 調査内容

ア 教科調査

小学校 国語科、算数科及び理科

中学校 国語科、数学科及び理科（理科のみC B T（Computer Based Testing）調査を導入）

イ 質問調査（児童生徒及び学校）

オンラインによる回答方式で実施

※ 調査問題や質問調査の詳細については、以下のURLから、国立教育政策研究所Webページを御覧ください。

<https://www.nier.go.jp/25chousa/25chousa.htm>

3 教科調査結果の概要

平成29年度から、国から提供される各都道府県別及び各市町村別の平均正答率が整数値となつたため、奈良県と香芝市の平均正答率は、整数値で示しています。

(1) 小学校

教科	香芝市	奈良県（公立）	全国（公立）
国語科	9.5 /14	9.4 /14	9.4 /14
	68 %	67 %	66.8 %
算数科	9.3 /16	9.3 /16	9.3 /16
	58 %	58 %	58.0 %

理科	10.1 /16 59 %	9.7 /16 57 %	9.7 /16 57.1 %
----	------------------	-----------------	-------------------

(上段：平均正答数/設問数 下段：平均正答率)

(2) 中学校

教科	香芝市	奈良県（公立）	全国（公立）
国語科	7.5 /14 53 %	7.4 /14 53 %	7.6 /14 54.3 %
数学科	7.4 /15 50 %	7.1 /15 47 %	7.2 /15 48.3 %
理科	500	492	503

(上段：平均正答数/設問数 下段：平均正答率 理科は I R T スコアによる公表)

- ※ I R T (Item Response Theory : 項目反応理論) は、個々の問題の難易度と、それに対する児童生徒の解答状況から、各児童生徒の学力（能力）をより正確に推定し、同時に各問題の難易度も統計的に測定するための理論と方法です。
- ※ I R T スコアは、I R Tに基づいて算出される受験者の学力を示す点数です。難易度の高い問題に正答していると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出されます。全国学力・学習状況調査の I R T スコアは、500を標準とした得点で表されます。

4 教科調査結果から見える課題と指導のポイント

(1) 国語科

ア 課題

(ア) 小学校

目的に応じて、文字と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けることに引き続き課題が見られました。

(イ) 中学校

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題が見られました。

イ 指導のポイント

文書を読む目的を明確にして必要な情報を捉えること及び伝えたいことの根拠を明確にして書くことを意識させることが重要です。

(2) 算数及び数学科

ア 課題

(ア) 小学校

数直線上の分数を捉えること及び百分率を倍を使って捉え直し表現することに課題が見られました。

(イ) 中学校

あらかじめ書かれている図形の証明を評価し、及び改善することに課題が見られました。

イ 指導のポイント

基準となる数字を見いだし数量の関係を捉えさせること及び数学的な用語や表現についての知識の習得と習得した知識を活用する活動を行なうながら理解を深めていくことが重要です。

(3) 理科

ア 課題

(ア) 小学校

電気が通る回路を実際の生活の中で作ることに関する理解に課題が見られました。

(イ) 中学校

化学変化を原子や分子のモデルで表すことに課題が見られました。

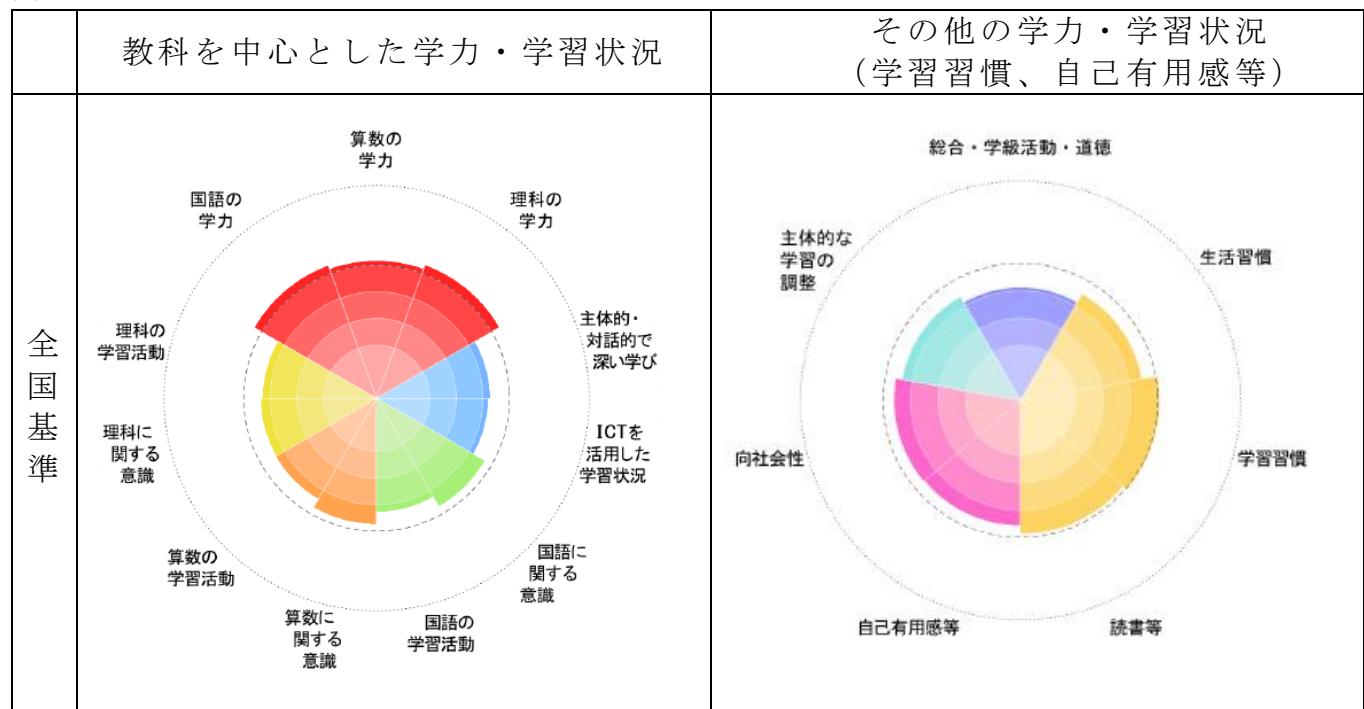
イ 指導のポイント

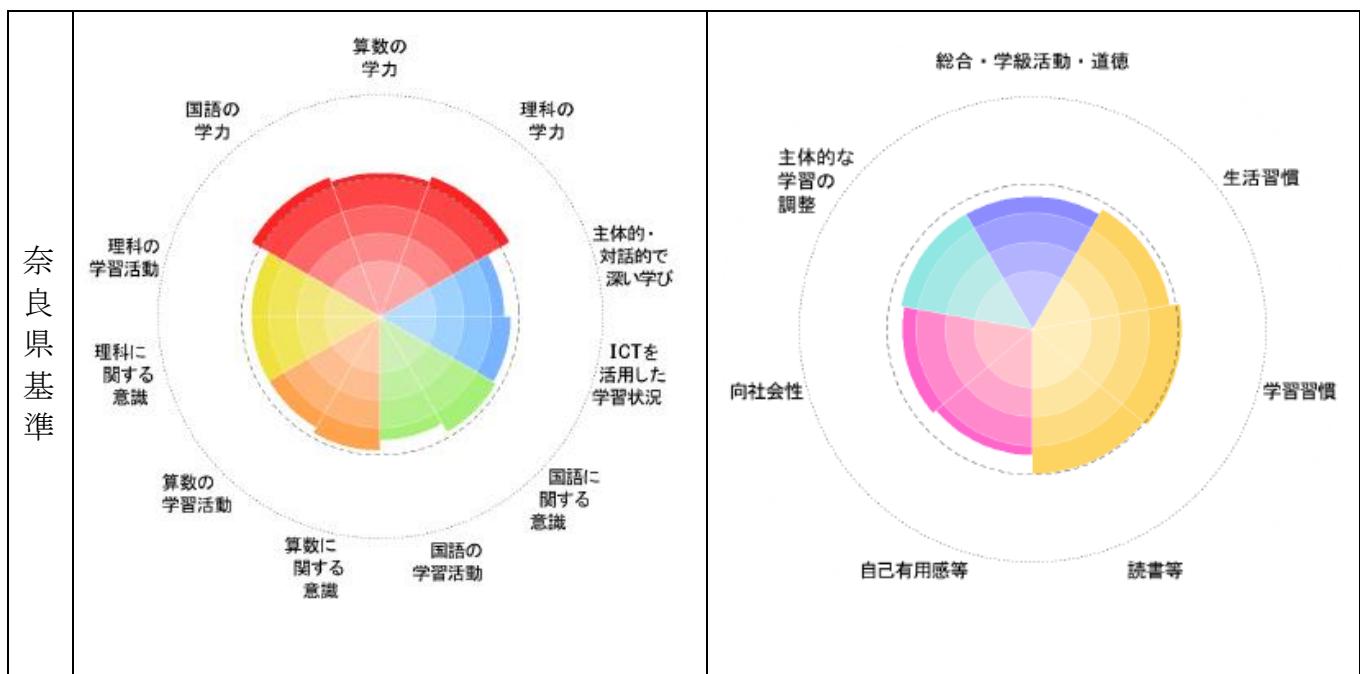
問題解決や科学的な探究プロセスを通して、学習を通して身に付けた知識を活用することができるような指導の充実が重要です。

5 調査結果チャートから見える学力・学習状況

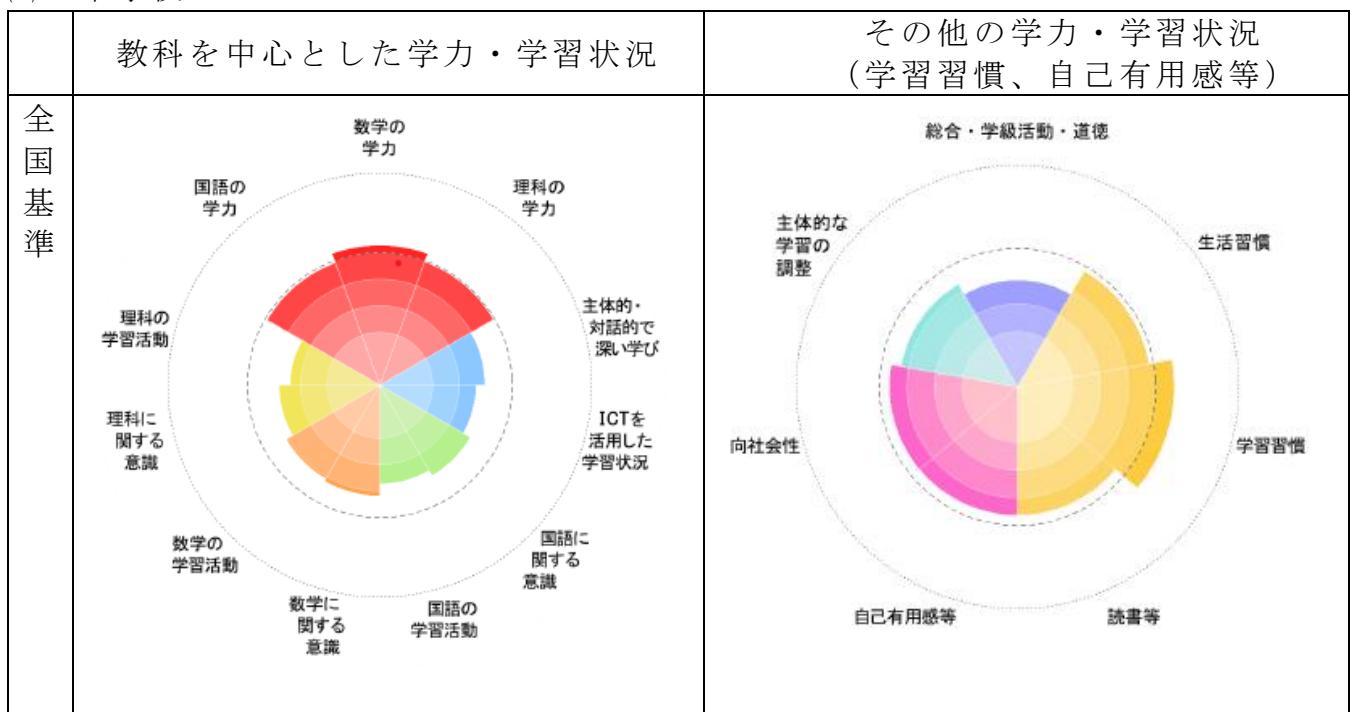
次の調査結果チャートは、香芝市の結果を全国及び奈良県と比較したものです。児童生徒の学力や学習状況を多角的に分析することで、学力向上に向けた取組や授業改善、学校運営の改善に係る計画や具体的な方策の検討に活用することができます。

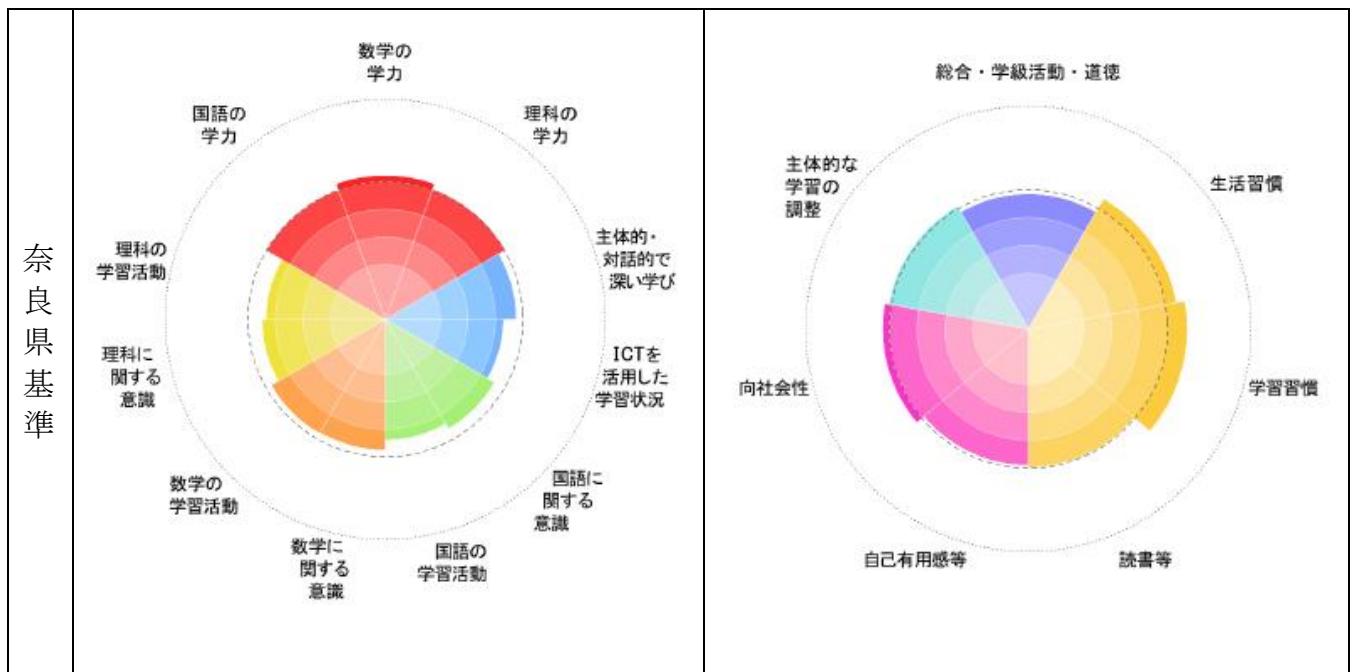
(1) 小学校





(2) 中学校





各学校では、調査結果から自校の課題を分析し、調査対象の学年だけではなく、学校全体で組織的に授業改善に努め、学力向上に取り組んでいます。

香芝市教育委員会では、児童生徒の学力向上に向け、各学校において、主体的かつ対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、ＩＣＴの効果的な活用、学習習慣の確立等が管理職のリーダーシップの下で進むよう支援に努めています。